

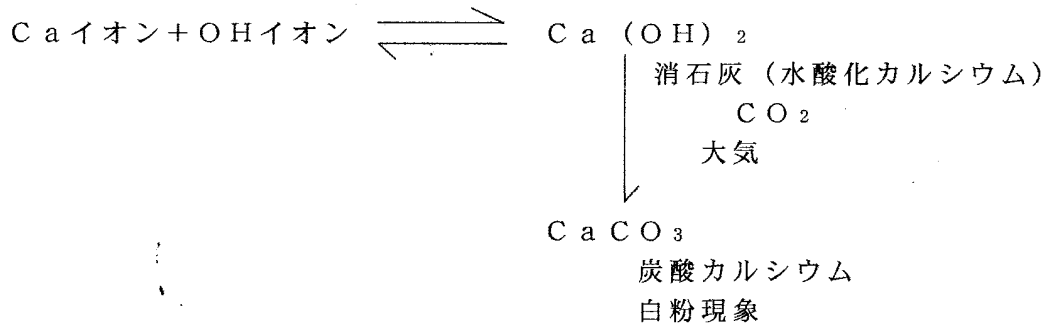
白華防止説明

【白華現象】

コンクリート製品を打ち込み養生中、或いは製品の保管期間中にコンクリート表面に白華現象が現れことがあります。

コンクリート製品中の微細穴において、コンクリートの固化反応に使用される水以外の自由水（余剰水）が移動しますが、この自由水に消石灰のカルシウムイオン（余剰水へ溶解したカルシウムイオン）が溶解し、コンクリート表面に移動します。或いは製品保管期間中、コンクリートは水分の吸収と排水を繰り返します。雨に濡れた場合、コンクリート中に水分が入り込み消石灰を溶解し、乾燥状態の時、この溶解水はコンクリート表面から蒸発します。

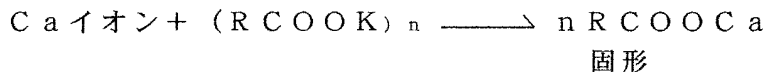
コンクリート表面に移動したカルシウムイオンは、そのまま消石灰粒子として白粉となります。或いは、大気中の二酸化炭素と反応します。その結果、カルシウムイオンは炭酸カルシウムへと反応し白粉となりコンクリート表面の白華現象を起こします。



【白華防止】

W-70はポリ石鹼の形を有していますので、カルシウムと反応します。

コンクリート中にW-70を浸透させることによりカルシウムイオンが表面に出て、二酸化炭素と反応することを妨げます。



カルシウムが炭酸カルシウムとなる以前に先に固形物を生成します。

更に活性剤の作用により洗い落とすことが可能となります。

（黒ずみ、汚れ付着防止剤としての使用）

表面仕上げW-70Aは、コンクリート仕上がり表面を向上させる効果があります。

コンクリート製品を長期間保管する場合、湿潤と乾燥を繰り返しコンクリート表面に汚れ物質が付着します。汚れ物質はカビ、藻類、大気中の廃棄ガス、等様々な物質がありますが、いずれの場合もコンクリート表面外観を阻害致します。これらの汚れは、コンクリート表面の細孔部分に入り込み簡単に除去できなくなります。

表面仕上げW-70Aは、これら汚れ物質の付着防止に効果があります。汚れ物質はコンクリート表面のW-70A成分と結合し、洗い落とし易くなります。

【特徴】

コンクリート表面でポリ石鹼は、乾燥して薄い皮膜となっています。この皮膜に汚れ物質が付着しますが、汚れ物質は、石鹼成分と結合した形で洗い流されます。

特に、コンクリート表面の細かい細孔部分に入り込んだ汚れは落ちにくいのですが、この細孔部に、予め表面仕上げW-70Aの成分を入れておくことが重要です。